

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

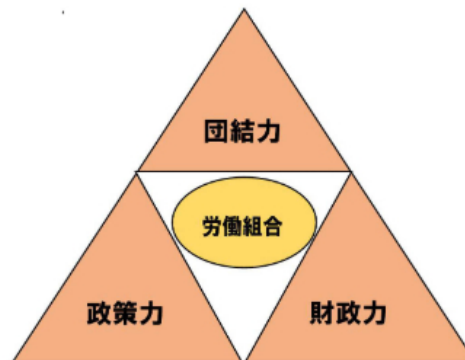
資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [組織活動](#) | [労働組合「力の三原則」](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)[▶ キーワード検索はこちら](#)

労働組合「力の三原則」

労働者は一人では弱いから、同じ思いの労働者が「まとまり」結束することで、大きな力を発揮することを学び、労働組合という組織（団体）を結成し活動してきました。

したがって、「団結こそ労働者の命」であり、団結は、労働組合・労働者の力の源で、団結からあらゆる活動の力が生み出されます。



この団結を基盤に、労働組合の「力の三原則」と通常言われている内容を紹介します。

力の三原則

1. 団結力とは、「まとまり・凝集力（固さ）」のことで、量と質から見る。

- 「量」→ 数は力なり。
- 「質」→ ①組合員の意識（当事者意識）が高いこと（本音の意見と反映）。
 - ②仲間意識・連帯感の高揚。
 - ③目標意識が高く、お互い共有している。
 - ④理解・納得の上に合意形成がなされ、協力関係による活動が活発に展開されていること。
 - ⑤組合（事務所）が大いに活用されていること。

2. 政策力とは、要求・ニーズ実現のための「手段・方法・手順の適切さ」

- 客観的要素→ ①目標設定に社会的妥当性があること。
 - ②相手（会社など）に対し、説得性・納得性のある政策提言を具体化できること。
 - ③短期・中長期にわたる情勢判断による政策提言であること。
- 主観的要素→ ①組合員の理解・納得、合意形成による目標設定及び政策であること。
 - ②技術的側面としての協議・交渉力（話術・人間性）の質的強化が常に図られていること。
 - ③組合員の英知を結集する仕組みと組合員が組織的にも個人的にも能力アップの努力がなされていること。

3. 財政力とは、「活動を裏づける資金対策」

- 日常の活動を支える「運営費」。
- 争議行為を支える「闘争資金」そして、生活保障の「生活資金」。
- 緊急対応、非常時対応の「予備資金」。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE [【ワーカーズ・ライブラリー】](#)

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.